

2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 アビックス株式会社
 コード番号 7836 URL <http://www.avix.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 廣田 武仁
 (氏名) 桐原 威憲
 TEL 045-670-7720

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	235	60.0	4		4		5	
2020年3月期第1四半期	147	29.7	45		46		45	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 4百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 46百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.23	0.23
2020年3月期第1四半期	1.85	

(注) 2020年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,281	386	29.9
2020年3月期	1,353	381	27.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 382百万円 2020年3月期 376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を精査中であり、現時点において合理的な算定が困難であるため、未定といたします。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	24,724,500 株	2020年3月期	24,724,500 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	株	2020年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	24,724,500 株	2020年3月期1Q	24,649,929 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおりません。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることを御承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動が制限されるなど、社会・経済活動が急速に停滞したことから極めて厳しい状況となりました。景気の先行きにつきましては、緊急事態宣言は解除されたものの、新型コロナウイルス感染症第2波の到来が懸念されており、予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは感染リスク低減のため、一部の部門を除き在宅勤務を原則とし、今後も継続する方針であります。営業活動といたしましては、Web会議の活用などにより継続しており、経済状況に左右されない安定的な収益を確保できる事業を中心に展開してまいりました。

これらの結果、売上高235,457千円（前年同期比60.0%増）、営業利益4,950千円（前年同期は45,124千円の営業損失）、経常利益4,884千円（同46,269千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,591千円（同45,605千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

また、セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業は3部門あり、機器リース部門は主にデジタルサイネージのリース、運営部門はデジタルサイネージ向けを中心とした販促支援サービス（コンテンツ配信等のソフト面でのサービスやメンテナンスの他、新たな販促支援サービス）の提供、情報機器部門はデジタルサイネージの製造・販売を行っております。

機器リース・運営部門につきましては、長期契約による収益安定事業であることから、今後も安定的な収益が見込めております。

情報機器につきましては、製品の低価格化などにより、デジタルサイネージは幅広い業界に普及しつつあり、市場は拡大傾向にあります。加えて前期より主力業界の変更に取り組み、外部企業との連携やWeb施策を実施しており、新たな業界からのお問い合わせや案件数は増加しております。

以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は、売上高219,532千円（前年同期比64.8%増）、セグメント利益10,864千円（前年同期は39,535千円のセグメント損失）となりました。今後も上記の取り組みを継続し、新たな業界への参入を加速させてまいります。

②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営している、Value creating事業につきましては、地域創生を軸とし、SNSと大型LED表示機を連動したWeb-リアルを横断するクロスメディアの運営を行っております。

将来的に当社グループの基幹事業とするべく人員の増強、今後の拡大を見据えた仕組化等に取り組んだことによる費用増加もあり、黒字化には至りませんでした。

以上の結果、Value creating事業は、売上高15,924千円（前年同期比14.0%増）、セグメント損失5,914千円（前年同期は5,588千円のセグメント損失）となりました。セグメント損失であるものの、展開地域数の増加により、売上高は増加しております。引き続き当社グループの基幹事業とするべく展開してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、1,281,043千円（前連結会計年度比72,626千円の減少）となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、894,387千円（前連結会計年度比77,562千円の減少）となりました。その主な要因は、借入金の減少によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、386,655千円（前連結会計年度比4,935千円の増加）となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、現在精査中であり、合理的な予想の数値の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	960,993	923,926
受取手形及び売掛金	158,077	121,199
商品及び製品	62,626	70,501
仕掛品	5,398	4,144
原材料	11,891	11,199
その他	18,516	15,130
貸倒引当金	△112	△84
流動資産合計	1,217,390	1,146,018
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	372	358
車両運搬具（純額）	2,409	2,208
工具、器具及び備品（純額）	16,061	16,639
レンタル資産（純額）	12,234	11,164
リース資産（純額）	51,188	49,308
有形固定資産合計	82,266	79,679
無形固定資産	4,080	4,903
投資その他の資産	49,932	50,440
固定資産合計	136,278	135,024
資産合計	1,353,669	1,281,043
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,389	28,425
1年内返済予定の長期借入金	256,996	244,446
未払法人税等	3,108	1,886
その他	71,631	70,012
流動負債合計	362,125	344,770
固定負債		
長期借入金	562,753	504,954
その他	47,071	44,663
固定負債合計	609,824	549,617
負債合計	971,949	894,387

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	574,562	574,562
資本剰余金	91,824	91,824
利益剰余金	△290,179	△284,588
株主資本合計	376,206	381,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	551	726
その他の包括利益累計額合計	551	726
新株予約権	1,641	1,641
非支配株主持分	3,320	2,489
純資産合計	381,719	386,655
負債純資産合計	1,353,669	1,281,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	147,181	235,457
売上原価	68,756	105,129
売上総利益	78,424	130,328
販売費及び一般管理費	123,548	125,378
営業利益又は営業損失(△)	△45,124	4,950
営業外収益		
受取利息	3	0
保険解約返戻金	980	—
その他	21	2,020
営業外収益合計	1,004	2,020
営業外費用		
支払利息	2,096	2,064
その他	53	21
営業外費用合計	2,150	2,085
経常利益又は経常損失(△)	△46,269	4,884
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△46,269	4,884
法人税、住民税及び事業税	124	124
法人税等合計	124	124
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46,393	4,760
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△787	△830
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△45,605	5,591

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46,393	4,760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△490	175
その他の包括利益合計	△490	175
四半期包括利益	△46,883	4,935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,096	5,766
非支配株主に係る四半期包括利益	△787	△830

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定、会計上の見積りについて重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	133,209	13,972	—	147,181
セグメント間の内部 売上高又は振替高	360	—	△360	—
計	133,569	13,972	△360	147,181
セグメント損失(△)	△39,535	△5,588	—	△45,124

(注) 1 セグメント売上高の調整額△360千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 セグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	219,532	15,924	—	235,457
セグメント間の内部 売上高又は振替高	720	—	△720	—
計	220,252	15,924	△720	235,457
セグメント利益又は セグメント損失(△)	10,864	△5,914	—	4,950

(注) 1 セグメント売上高の調整額△720千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益とセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。